

| | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| 決 裁 | 議 長 | 局 長 | 主 事 |
| | | | |

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

| | |
|-----|-----------------------------|
| 期 間 | 平成 30 年 8 月 29 日（水）～30 日（木） |
| 場 所 | 東京都 |
| 目 的 | 地元選出国會議員への要望活動 |

| | |
|-----------------------|--|
| 報 告 の 内 容 | 1. 要望活動(29日) 国の政策として取り組むべき地域の課題を町議会で検討。 〔衆議院〕金子先生と〔参議院〕松村先生に以下の内容を要望した。 (1) 介護保険の公費負担支援 (2) 少子化・子育て支援対策 (3) 森林環境譲与税の配分基準 (4) 農業支援事業の採択基準緩和及び補助率の引き上げ (5) 空き家対策 |
| | 2. 山都町・東京事務所の取り組み(30日) 主な研修内容は以下のとおり。 (1) ㈱クレーンと山都町の関わり (2) 主要な取り組み (①人事交流 ②企業誘致 ③販路拡大) |

2. 所感（※議会・議員として、どう関わるか）

今回の要望活動は、議会の監査機能と提案機能および国全体の課題を視野に入れた、湯前町独自の要望スタイルであった。今後も継続できればと考える。

また、関連する数値データや根拠となる事実を添付することで、地域の課題をより具体的に示すことを次回の課題としたい。

山都町・東京事務所の取り組みは、地方創生の一手法として本町でも検討すべき。そのためには、リーダーシップとパッション（情熱）を持つ人材の確保と組織の存在が不可欠。

今後は、山都町のような事例を調査して、町の課題解決に向けて行動したい。